



インスピレーションになるう  
バリー・ラシン

国際ロータリー2018-19年度会長

第2510地区  
第11グループ

函館東ロータリークラブ

ロータリーの絆をより深めよう  
2018~2019年度 会長 佐藤 美子

会報  
2018~2019

第2964回 11月20日(火)

本日の  
プログラム

「百貨店業界の現状と函館丸井今井の取組み」

(株)函館丸井今井  
代表取締役社長兼店長 橋本 弘昭氏

次週の  
プログラム  
11月27日(火)

「ガバナー月信10月号、ロータリーの友 朗読」

SAA 五十嵐 稔 会員  
国際奉仕理事 安田 雄二 会員

- 会長/佐藤美子
- 副会長/森元浩
- 会長エレクト/石畑弘樹
- 幹事/三輪生治
- 副幹事/安保裕一郎

- 例会場/ホテル函館ロイヤル  
TEL (0138) 26-8181 (代)
- 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
- 事務所/ニチロビル4F  
TEL (0138) 23-3870  
FAX (0138) 22-2251
- 友好クラブ/長崎東ロータリークラブ

第2963回例会 2018年11月13日(火) 天候 晴

月間テーマ ロータリー財団月間

■ロータリーソング 我等の生業

■司会 佐藤 美子 会長

■SAA

福嶋会員の葬儀は11月18日(日) 2時より音羽ホールにて執り行われます。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■会長報告

- 1、理事会報告
- 2、地区大会のお礼状が届いております。

■幹事報告

- 1、本日午後6時30分からクラブアッセンブリーを開催いたします。
- 2、他クラブ例会変更：11月21日(水)函館北RC祝日週休会のためビジターの受付は行われません。29日(木)函館RC自主休会、30日(金)函館五稜郭RC夜間例会に変更です。

## 「米山月間(10月)

### ロータリー財団月間(11月)について

ロータリー財団・米山記念奨学委員長 小野 会員

今年には米山梅吉翁生誕150年の記念、加えて去年は財団設立50年の記念すべき年でありました。この年に、ロータリー財団・米山記念奨学会の卓話を仰せつかりましたので、その責を務めさせていただきます。



財団と米山については大方の方がご承知ですので、本日は新会員を対象とした卓話とビデオを放映させていただきます。古い会員の皆様にはご辛抱願います。まず、テレビ「世界に届け米山の懸け橋」をご覧ください。

ロータリー財団は人道的、教育的な面で、ポリオをこの世から根絶させるための財源を拠出する

ことです。ポリオは30年前には125ヶ国であったのが、現在は3ヶ国にまで減っております。

米山奨学会は、外国人留学生に奨学金を給付して将来、日本と世界を結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリーの良き理解者となって欲しいと、東京ロータリークラブの初代会長 米山梅吉氏が創設した財団です。

ロータリー財団に、当クラブでは会費と一緒に150ドルを寄付して頂いています。

米山記念奨学会は、年に1万円寄付を頂ければ有難いです。このほど、佐藤美子会長から10万円の寄付を頂きました。

20年ほど前、当クラブが中国から北大水産学部在学の学生を奨学生として預かっておりました。

会員名簿の冒頭に米山記念奨学金を寄付下さったメジャードナー、マルチプル、米山功労者、米山功労法人の名前が掲載されていますのでご参考までご覧下さい。

#### ロータリー米山記念奨学事業とは



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下、米山奨学会)は、日本のロータリーが協同で運営する奨学財団です。米山奨学会では、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。

将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

#### なぜ、外国人留学生支援なのか?

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい――。1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄りたい……という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本のまき道は平和しかない。その平和と日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和と日本を伝えてほしい。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか。」(ロータリー米山記念奨学会史より)

#### 特長 その① 世話クラブ・カウンセラー制度

「顔の見える交流を大切にしています」  
奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブ会員が「カウンセラー」となって、日常の相談役をつとめます。奨学生は世話クラブの例会や華社活動に参加し、実業家・専門職人であるロータリアンとの交流を通じて、ロータリーが求める平和の心、華社的心を学びます。したがって、米山奨学生には奨学金を受け取るだけでなく、交流を大切にすることを求められます。

#### 特長 その② 事業規模の大きさ

「国際奨学事業としては民間最大」  
2018年度の奨学生数は852人、事業費は14億円(2017-18年度決算)と、外国人留学生を対象とする民間奨学では国内最大規模です。これまでに支援した奨学生数は累計で20,306人(2018年7月現在)。その出身国は、世界127の国と地域に及びます。

#### 特長 その③ 平和への「人づくり」

「あなたも支援者の一人です」  
東京ロータリークラブ発祥の事業として始まった米山記念奨学事業は、わずか5年で日本全国の共同事業へと発展。1967年には、文部省(当時)を主催官庁とする(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。この事業は日本全地区によるロータリーの多地区合同活動であり、みなさまからのご支援で成り立っています。

## ロータリーの絆をより深めよう

### ロータリー財団とは

#### ■ビジョン

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

より良い地域づくりのための活動やグローバルなイニシアチブを資金面で支えているのが、ロータリー財団です。クラブや地区に補助金を提供しているほか、ポリオの撲滅や平和の推進といったグローバルなキャンペーンを展開しています。こうした活動や補助金を実現させているのが、皆さまからロータリー財団へのご寄付です。

#### ■財団の歴史

1917年、アーチC.クランプ R I 会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案。この基金が1928年に「ロータリー財団」と名づけられて国際ロータリー内の新しい組織となり、現在のロータリー財団にいたっています。



ロータリー財団の創設者  
アーチC.クランプ(1916年頃)  
(写真提供:Rotary Images)

#### ■財団の成長

1929年、財団は初の補助金500ドルを国際障害児協会へ贈りました。この協会は、ロータリアンだったエドガーF. “ダディー” アレンが創設したもので、後に「イースター・シールズ」（米国の慈善団体）となりました。

1947年、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、多くの人びとから国際ロータリーに寄付が寄せられました。この寄付は「ポール・ハリス記念基金」となって、その後のロータリー財団の発展のために役立てられました。

#### ■財団プログラムの変遷

1947年／財団初のプログラム「Fellowships for Advance Study（高等教育のためのフェローシップ）」を開始。このプログラムは後に「国際親善

奨学金」として知られるようになる。

1965～66年／財団が新たに「研究グループ交換（GSE）」「Awards for Technical Training（技術研修のための補助金）」「Grants for Activities in Keeping with the Objective of The Rotary Foundation（ロータリー財団の目的を果たす活動のための補助金、後の「マッチング・グラント）」の3つのプログラムを開始。

1978年／「保健、飢餓追放、人間性尊重（3-H）補助金プログラム」を開始。3-H補助金のプロジェクト第一号として、フィリピンの600万人の子どもたちにポリオの予防接種を実施。

1985年／全世界でポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス・プログラム」を設置。

1987～88年／初めての平和フォーラムが開催され、これが「ロータリー平和フェローシップ」創設のきっかけとなる。

2013年／世界中のロータリアンがグローバルなニーズに応えられるよう、新しい補助金モデル（地区補助金、グローバル補助金、パッケージ・グラント）を導入。

1917年に26ドル50セントの寄付から始まったロータリー財団は、10億ドル以上の寄付を受けるほどの大きな財団に成長しました。財団はこうして多くの方々に支えられ、人道的分野や教育面での支援活動を続けています。

故 福嶋貢会員がいただきました黄綬褒章です。  
ご冥福をお祈りいたします。



### ■ニコニコボックス

佐藤美子会長、三輪幹事 小野会員、本日の卓話よろしくお祈りいたします。

田中会員 結婚記念日のお花ありがとうございます。

岩山会員、安保会員 月初めです。

佐藤真一会員 お久しぶりです。

#### ■出席報告

- ・11月13日(火) 会員44名中 出席26名(免除1名)
- ・10月30日(火) 72.73%

#### 市内他クラブ プログラム

11月21日(水)	函館北RC	祝日週休会
11月22日(木)	函館RC	卓話
11月23日(金)	函館五稜郭RC	祝日休会
11月26日(月)	函館亀田RC	卓話

◆ テレホンサービス 26-3170 ◆

野口観光マネジメント(株)  
**HAKODATE 海峡の風**

佐々木 毅 会員 湯川町1-18-15 電話 59-1126

**(有)不動産企画ウィル**

佐藤 真一 会員

松陰町18-36 電話 35-6235